

# 令和3年度決算審査評価事業 調査報告書

(文教厚生分科会 No.1)

(所属課, 事業コード) 事業名	(社会教育課, 2191) 文化財保護経費 <span style="float: right;">※P. 177</span>	
予算額	令和3年度決算	17,181千円
	令和4年度	17,602千円
	令和5年度(案)	21,827千円
<p><b>【決算審査における検討点, 争点】</b>                  (令和3年度決算審査での提言等)</p> <p>限られた予算の中で、鹿島の歴史発信に力を入れており、除草及び樹木管理についても適切に行われている。今後は、市内に所在する各種文化財を適切に保存するため、今年度中にデジタルアーカイブ化の調査・研究を行い、課題を整理した上で、必要な予算を反映させることが必要であると考えることから、今後の方向性については、改善とした。</p> <p style="text-align: center;">※決算審査時の評価：「十分評価できる」 今後の方向性：「改善」</p> <p><b>【当初予算への反映状況】</b>                  (決算評価がどう当初予算へ生かされたか)</p> <p>市内所在の各種文化財のデジタルアーカイブ化に向けて研修派遣等の取り組みが予定されている。また、市指定史跡の「夫婦塚古墳附陪塚」の古墳全域の業者による除草作業の委託や、国重要文化財である鹿島神宮建造物修理の補助事業（文化財保護）などが予算化されている。</p> <p>こうしたことから、令和3年度の決算審査において、評価「十分評価できる」、方向性「改善」の評価を受けたことに対し、改善され、当初予算への反映がなされている、とした。</p> <p><b>【調査結果】</b>                  (総括)</p> <p>文化財のデジタルアーカイブ化については、早急に検討しよく進めて行ってほしい。デジタルに慣れた若者世代には親しみやすくなると思われる。</p> <p>また、文化財の保存場所については、今後よく検討し適切な保管方法、保管場所にし、より多くの方に見てもらい後世に伝えていくことが大切である。</p>		